

生活科の実践

釧路市

生活科

1年

みんなで身近な野菜を栽培しよう！

じゃがいももおおきくなあれ！

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

この単元は内容（４）（７）（９）にかかわる学習です。指導要領で、内容（７）については、２学年にわたって取り扱うことになっています。草花に比べて野菜は、お世話を工夫しなければならない場面が多いので、まずは、１年生でみんなと同じ「ジャガイモ」を育てて食べる経験をさせるのです。２年生の栽培活動の共通体験になると考えます。

学習活動の流れ（１９時間）

生長を楽しみにできるような場を作り、意欲的にお世話ができるようにかかわります。

草取りや土盛りといったアサガオとは違ったお世話をみんなで行うことで、野菜作りの楽しさを知らせます。

ジャガイモのお世話を知りたいということから、地域の方とかかわるきっかけを生みます。

自分たちの活動をふりかえり、来年も野菜を植えたいという気持ちを大切にします。

種芋をうえよう（２）

- ・じゃがいものたねいもをみてみよう
- ・なにができるかな
- ・うえてみよう。早く芽を出してね！

芋のお世話をしよう（５）

- ・はっぱがでてきたよ、アサガオとちがうね
- ・大きくなった様子をかこう
- ・じゃがいものお世話をしよう

芋掘り遠足に行こう！（４）

- ・じゃがいもおじさんのところへ行こう
- ・こんなにおおきくなっているんだね

とったじゃがいもをたべよう（３）

- ・どんな食べ方ができるかな
- ・お父さんお母さんも招待しよう

「じゃがいも発表会」をしよう（５）

- ・誰に伝えようかな
- ・「じゃがいも発表会」の準備をしよう
- ・「じゃがいも発表会」を開こう

1年生の栽培活動の実践です。一人一鉢のアサガオ栽培と同時に、近くの農園でジャガイモを栽培します。地域の方の協力を得ながら、みんなで育てる楽しさを体感させていきます。



ジャガイモ大きくなりました

教材・活動の Point!

1. アサガオとジャガイモを育てる

草花であるアサガオと、野菜であるジャガイモを育てていきました。アサガオとジャガイモを育てていく中で、子どもたちは育ちを比べて考えるようになります。つるになるもの、葉の形、実の付き方などの違いなどの気づきが生まれました。またどんなに寒くても芽を出すジャガイモを見て、生命力の強さを感じることができました。

2. 地域の方と連携して

畑の管理は地域の方に協力してもらいました。雑草の抜き方や水のやり方を教えてもらったり、「葉っぱが枯れてきたからそろそろおいもができてよ。」と教えてもらったりして、お世話と収穫が楽しみになっていきました。じゃがいもおじさんと仲良くなった子どもたちは、地域にも親しみをもつようになったのです。



3. 一緒に活動することの楽しさを味わう

収穫には、保護者の協力も呼びかけ、みんなで活動することの楽しさを感じることができました。料理して食べるだけでなく、これまでの自分の活動や、ジャガイモの生長の様子を振り返り、ジャガイモ発表会を設定したのです。これまでのかかわりをもとに、自分たちの頑張りや、お世話になった人への感謝をはっきり伝えることができました。

